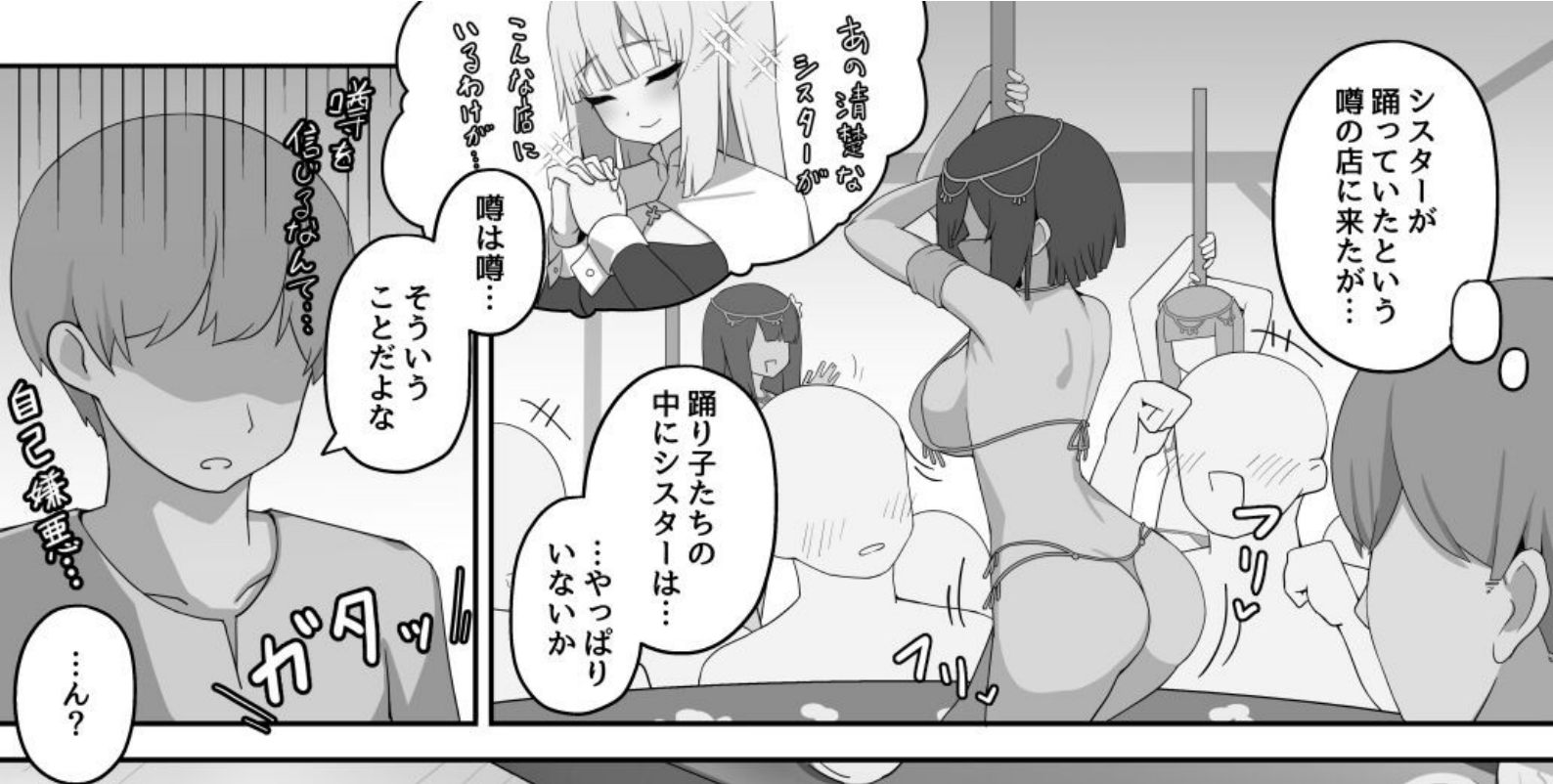




シスターが
踊っていたという
噂の店に来たが…

あの清楚な
シスターが

噂は噂…

そういう
ことだよな

踊り子たちの
中にシスターは…

…やつぱり
いないか

噂を
信じてなくて…

ガッ

…ん？



そろそろ
サービスタイム
ですけど…

『お手伝い』は
必要ないですか？

なっ…
なななっ…

ステージの『上』は
目立っちゃうけど…

それなら
『下』で稼げば
問題ないわよね♡

「サービス」
しなや

なっ
なっ
なっ

!!

「もうこんなに大きくなっちゃってますね……♡」

（ま、まさか
シスターがテーブルの
下にいたなんて……）

（あの噂は本当
だった……）

（いや、この状況は
噂を軽く越えてる……）

ドキッ

ドキッ

むにゅ：〜

「時間いっぱいた〜つぷり
『お手伝い』しますから…」

「気持ちよかったら、
下にもおひねり…
投げてくださいね♡」

♡ち♡
♡

「ほ、はひっー」

（遠目に眺めるだけだった
あの美人シスターが…
チ、チンポにキスを…）

むにゅ：〜



ぬーが!!

フゝ

脱がー!!

ぬーが!!

フリ

(上には踊り子...
下にはシスター...)
(お、俺はどっちを
見れば...)

「あっ...そんなに
キスばかり...!」

ちゅ

ちゅ

ちゅ

むにゅ: ~

（お、踊りになんて全然
目が行かないっ…）

（シスターに「こんな」と
されたらっ…）

「…目が
合っちゃいますね♡」

「でも、
踊りも見ただ方が
きっと気持ちいいですよ♡」

「ほら、そろそろ…」

♡ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

むにゅ：〜



ハオオオオー!!

ふんっ

いっぞー!!

「……」

ハァアッ!!

フリ

（おちんちん…
ビクッてなった…）

（上も脱いで盛り上がり
始めてるみたいだし…）

（それに合わせて…）

ちゅ

ちゅ

ちゅ

むにゅ：〜

「れるれるれる♡」

「おおっ…
う、裏筋っ…!」

（腰が震えてる…♡
やっぱり男の人はこれが
気持ちいいのね…♡）



(…あ、また
私の方じつと見てる…)

「…ねっ…
やばっ…」

(気持ちよさそう…
もう射精しちやいそう
なのかも…)

(…でも、時間いっぱい
サービスするって
言っちゃったし…)



「はむっ...♡」

「こ、今度は
啜えてっ...!?」

「こっやって...
おちんちんの
さきっぽだけを...」

♡はむっ♡
♡♡

むにゅ：〜

「おっ……
おおっ……!!!」

(気持ちよく
なりすぎないぐらいに
加減して……♡)

(先っぽだけを刺激して
射精しないまま
じわじわと高めて……)

え
る
え
る

え
る

むにゅ：〜



「上は天国…下も天国…
こゝこんな場所があったなんて…」

(…踊りの方の
盛り上がりも増してきた…)

(…そろそろスパート
かけてもいいかしら)

フリッ

フリッ

脱げー!!

みせー!!

え

え

かん

むにゅ：〜



「う、うおおおっ!!!」

く

ぽ。ぽ。
ぽ。ぽ。
ぽ。ぽ。

（こっやって
竿まで咥えて…）

（後は音楽に
合わせて頭を振れば…）

じゅ。じゅ。
じゅ。じゅ。
がく

がく

むにゅ：〜



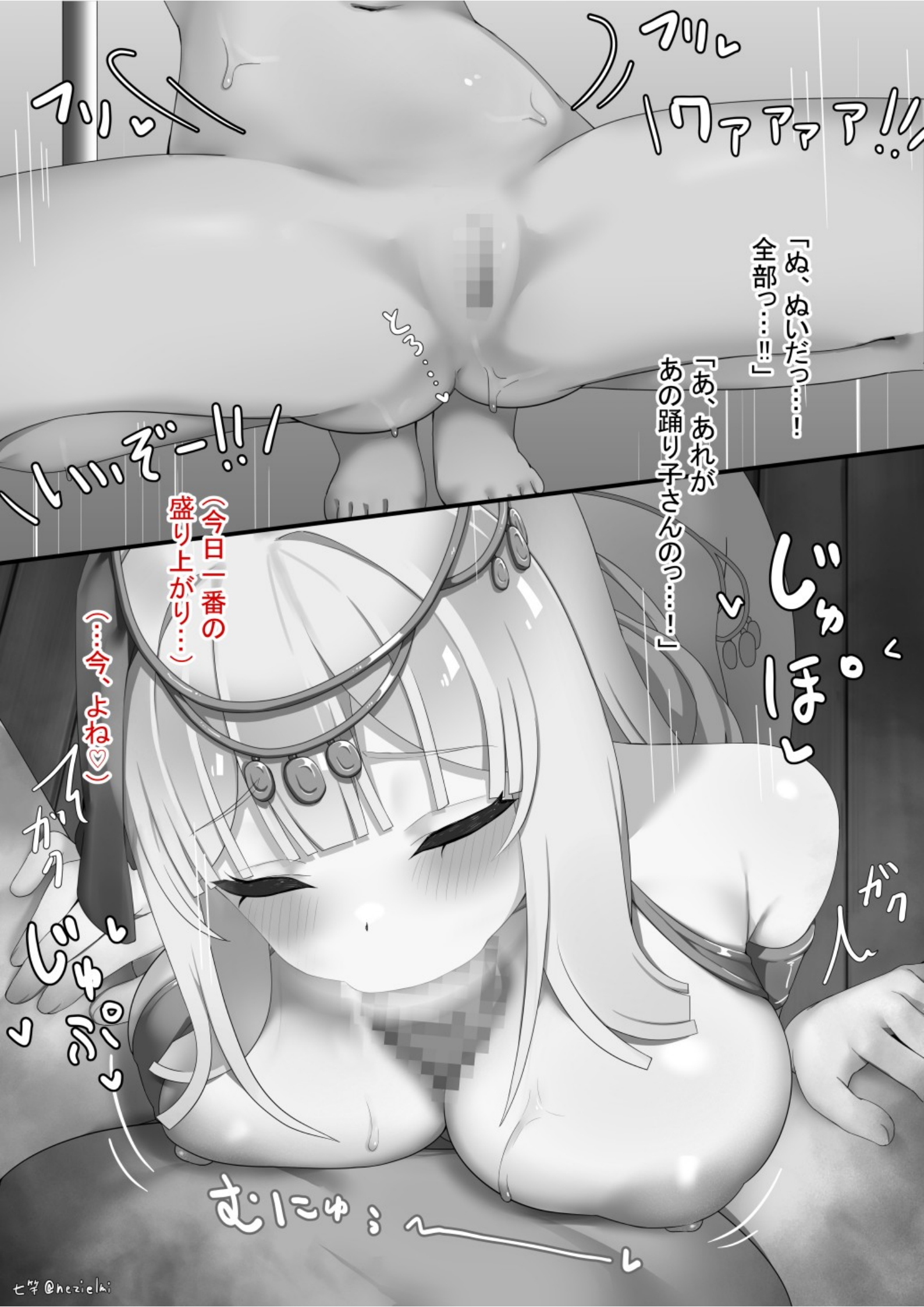
「おおおつ…
腰振りとフェラが
連動してっ…」

「…こんなのっ…
最高すぎるっ…!」

（…気持ち
よさそうな顔）

（これなら、おひねりも
期待できるかも…）

むにゅ：〜



「ぬ、ぬいだっ...!
全部っ...!!」

「あ、あれが
あの踊り子さんのっ...!」

（今日一番の
盛り上がり...）

（...今、よね♡）

むにゅ: ~





「ふ……んふ……♡」

「ひもひよはっは
へふは……?」

「は、はひっ……!
最高でしたっ……!」

「あ、おひねりっ……
金貨、
金貨出しますね!」

「……♡♡♡♡」

「……あ、あとっ
入信します!!」

「!!」

むにゅ：〜